



ゆうゆうプラザフェスティバル
実行委員長
かねこゆうし
金子雄司さん

子どもたちの生き生きとした姿が地域の宝。

活動のきっかけに/

市民活動推進補助金

※令和6年度の申請受付は終了しました。

これから活動を始めたい、新たな事業展開を図りたい、という市民団体の皆さんのきっかけづくりを目的とした公募型補助制度です。

※「市民活動」とは市民の皆さんがさまざまなコミュニティを通じて地域のため、社会のために行う活動のことです。詳細は市ホームページをご覧ください。

市民生活課市民活動推進係
(内線2625)



▲特に人気だったペットボトルロケット。みんなが水に向かって水をくみに行きます。

活動に携わってきた方の中には80歳を超える方も。「子どもたちの生き生きしている姿が嬉しい限り。その笑顔で元気になれます。子どもが元気なら、地域も元気。子どもは地域の宝です」楽しむ姿に優しい眼差しを向ける金子さん。それこそが、長きにわたって活動できた原動力なのでしょう。

出合いが次の活動へ

区長や久喜コミュニティ推進協議会会長なども務める金子さん。普段から地域との強いつながりがある中で、地域活動とは何か。「出合いがあります。いろいろな人と出会えるのが楽しい。子どもも大人も、ボランティアやスタッフも地域の人も、幅広い世代と交流できる。交流により活動の幅も広がります。また次の活動へとつながっていきます。まずは一歩踏み出しましょう。待っているだけでは何も起こりません。地域が、みんなが待っていますよ」そう呼びかける金子さんの姿は、今日も元気であふれています。



ゆうゆうプラザフェスティバルは市民活動推進補助金を活用して実施されました。

各地で開催される多種多様なイベント。それらは地域の方や市民活動団体など、多くの人の支えによって成り立っています。携わった人たちの想いが込められることで、にぎわいが生まれ、地域のつながりもより深いものになっていきます。

新たなにぎわい作りに取り組むお2人の活動への想いに触れてみます。

にぎわいをつくるヒト

久喜市の魅力を見せる

大盛況となったくきストリートフェスティバル。実行委員長を務めた飛高孝保さんは「みんなで見せよう、久喜市の魅力を！」と力強く話します。

飛高さんは酒屋を営みながら、商工会青年部長や商店会の会長などを務められ、多くの経験をお持ちです。その中で大切にしていることは「皆さんが楽しんで笑顔になれること」。

今回のストリートフェスティバルでも、訪れた人を楽しませるために、何ができるか、どんなものにするか、入念に協議を重ねてきたとのこと。地元の商店会や商工会、スポーツコミッションなども参加し、大人から子どもまで1日中楽しめる充実した内容で、通りはどきどき大にぎわい。大勢の来場者が訪れた当日の様子に飛高さんは「こんなに来てくれるとは」と驚いた様子。「皆さん楽しみにしてくれていたのかな。秋を彩る素晴らしい1日になった」と喜びの表情を見せました。

また、イベントでは人前で発表する機会を用意したとも話します。「練習の成果を人前で披露する機会があるから、喜びや悔しさをバネに頑張れる。お囃子では初めて太鼓を叩く子もいたんです。熱心に取り組んでいる活動が認められるのはいくつになっても嬉しいですよね」

お客さんへの感謝

そんな飛高さんにとって地域活動は「お客さんへの感謝やおかげさまの気持ちを形にする」と言い切ります。商店会のイベントやお祭りといった、日常に楽しみをつくることで、普段の感謝を伝えているそうです。

最後に地域を盛り上げたいと考えている方への一言をお聞きすると「やりたいと思ったら自ら飛び込んでみることに。気持ちのままにまずはチャレンジしてみよう」と答えてくれました。さらに「住んでいる一人ひとりがまちを好きになって『こないないまちに住んでいいんだ』と思って、それを発信してくれたら嬉しいよね。そう思われるためのまちづくり、魅力づくりが大切」と地域への熱い想いを語りました。

みんなで見せよう、久喜市の魅力を！

くきストリートフェスティバル
実行委員長
ひだかたかやす
飛高孝保さん

